

タタ・エレクシー、プロアシストと提携、組込みシステムを共同開発

(2008年8月5日 ベンガルール／大阪)

インドを代表する複合企業『タタ』の技術部門であるタタ・エレクシー・リミテッド(ベンガルール市、マドウカル・デーヴ社長、+91 2297 9123)は、2008年8月5日、FA(ファクトリー・オートメーション)系の組込みシステムに強いプロアシスト(大阪府中央区、生駒京子社長、+81 06 6231 7230)と提携することを発表しました。

プロアシストは、FA系組込みソリューションを強みとした企業です。組込み制御システム、ハードウェア(ASIC/FPGA)から回路設計、コンサルからプロトタイプ製作、大量生産からシステムインテグレーションまで幅広くサービスを提供しています。この提携によりタタ・エレクシーは、DSP、画像やASICなどの組込み製品設計の強みを伸ばすことが出来ます。両社は、やささまざまな組込み系プロジェクトで共同開発することにより、日本のお客様にプラスをもたらし、シナジー効果を出すことをねらいます。

この提携に関し、代表取締役 生駒京子(いこま・きょうこ)氏は次のように述べています。「タタ・エレクシーとプロアシストは、インド・ベンガルールにおいてPGDC(プロアシスト・グローバル開発センター: Proassist Global Development Center)を共同設置することにしました。今後はPGDCにおいて、日本のFA系お客様向けにASIC、イメージング、DSPのプロジェクトを遂行していきます。タタ・エレクシーとプロアシストは、研究開発やIP開発においても提携していきます。」

タタ・エレクシー・リミテッド、東アジア事業部長、マノージュ・ラーガワン氏は、次のように述べています。

「日本はタタ・エレクシーにとって重要なマーケットです。PGDCをプロアシストと共同設置するということは、単に両社を助けるだけではなく、私たちの足場を末永く強化し、組込み関連エリアやIP開発における専門技術力も倍増させるという効果があります。」

プロアシストについて

プロアシストは、先端技術に特化した企業です。日本のお客様に製品システム・ソリューションを提供しています。また「超音波センサ信号処理システムや、「入退室記録通知システム」の特許を保有しています。注力している分野はFAや、医療用画像技術です。プロアシストはまた、メカトロニクス技術、制御技術、Webアプリケーションとシステム・インテグレーション分野においてもソリューションも提供しています。

タタ・エレクシーについて

タタ・エレクシーは、インド最大の複合企業タタ・グループ(年間総売上 763 億ドル)の技術部門の会社です。タタ・エレクシーは、組込み製品設計、工業デザインやメカニカルエンジニアリング、アニメーションや視覚効果においてサービスを提供しています。

インド、ベンガルールに本社を構えるタタ・エレクシーは、製品設計の各ライフサイクルに対して高品質でコスト効果が高く、お客様が製品を市場に投入するまでのリード・タイ

ムを短縮するような迅速なソリューションを提供しております。これまで家電製品から、半導体、ネットワーク・テレコミュニケーション、自動車産業、航空宇宙産業、メディア・エンターテインメント、科学計測などさまざまな業界にサービスを提供してまいりました。

15 年以上にわたり製品設計サービスを提供してきた実績と、3500 人を越える人材を生かし、VLSI デザイン、組み込みソフトウェア、ネットワーク・テレコミュニケーション、マルチメディア、ストレージ、ビジュアル・コンピューティング、機械製品設計、アニメーションや特殊効果などの各分野において技術サービスを提供します。

一流を志向するタタ・エレクシーは、SEI CMMi レベル 5、ISO 9001: 2000、情報セキュリティ・ポリシーを定める規格である BS 7799 を取得してまいりました。

現在、国内に 13 箇所、世界に 20 箇所営業所を構えております。また、本社の他にチェンナイ、コインバトール、ハイダラバード、プネー、ティルヴァナンタプラムの開発センターでも開発を行っております。日本では、ニア・ショア開発センターを設けて開発を行っております。

この情報に関する質問はこちらまで

Sanaj Natarajan

Tata Elxsi Limited

Tel: 91 80 2297 9250

sanaj@tataelxsi.co.in

